

## 群馬県内企業の価格転嫁に関するアンケート調査

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

### 調査のポイント

原材料価格や人件費などのコストが上昇しているなかで、企業による商品・サービスへの価格転嫁の動向が注目されている。本稿では、これらについて、県内企業に対して調査した結果を報告する。

### 要約

- 原材料費、人件費、物流費、エネルギーコストのいずれも多くの企業で上昇しており、上昇率では原材料費が24.5%、エネルギーコストが21.3%であった。
- 価格上昇に対する価格転嫁率は、原材料費で33.6%であったが、エネルギーコストでは19.0%にとどまった。
- 価格転嫁を実施できた要因としては、「日頃からの情報交換・情報共有に基づく信頼関係の構築」、「原価を示した価格交渉の実施」などが上位を占めた。
- 採算確保のための工夫としては、「業務の効率化」の70.8%に続いて、「価格転嫁の実施」が64.2%となかった。

### アンケート調査概要

実施時期：2025年11月上旬～中旬

調査方法：郵送により配布、回収

調査対象先：県内企業1,973社

有効回答数：394社（20.0%）

業種別	回答企業数（社）	構成比率（%）
製造業	203	51.5
非製造業	191	48.5
合計	394	100.0
規模別	回答企業数（社）	構成比率（%）
20人以下	34	8.6
21～50人	164	41.6
51～100人	103	26.1
101人以上	93	23.6
合計	394	100.0